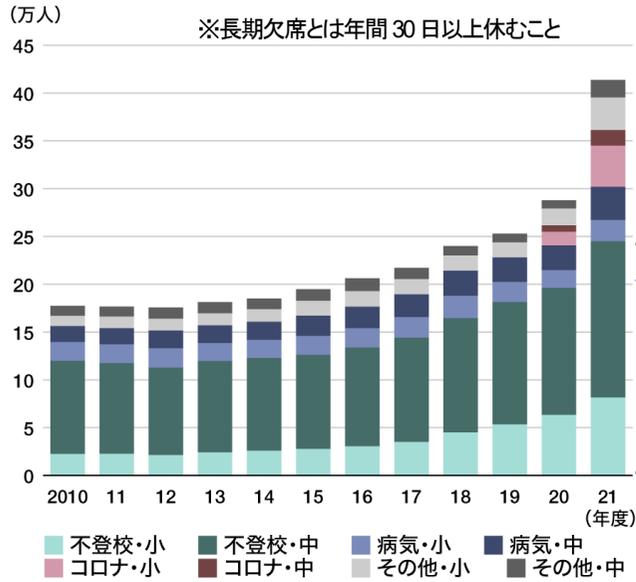


不登校 について考えよう

「不登校」とは、「年度間に連続又は断続して 30 日以上欠席した児童生徒」のうち「何らかの心理的、情緒的、身体的、あるいは社会的要因・背景により、児童生徒が登校しないあるいはしたくともできない状況にある者(ただし、『病気』や『経済的理由』による者を除く)」

小中学校における長期欠席の状況



出所：文部科学省

nippon.com



不登校は
過去最多！！

文部科学省「コロナ禍による環境変化が子どもに大きな影響を及ぼしたことがうかがえる」

発達障害の子どもが不登校になる原因とは？

※発達障害児の不登校リスクは高め！！

- ・対人関係やコミュニケーションが苦手なことから、集団の中で浮いた存在にぶったり、こだわりが強い特性から、からかいの対象になったりする。
- ・集中することが苦手であり、多動や衝動性に対する度重なる叱責で自己肯定感が低下する。
- ・読み書き計算など特定のことが苦手であるために、自己肯定感ややる気が低下する。……etc.

不登校になってしまったときには？

- ・居場所を作る。(家庭内、家庭や学校以外)
- ・相談相手を確認する。(親、教師、カウンセラー、医師、その他)

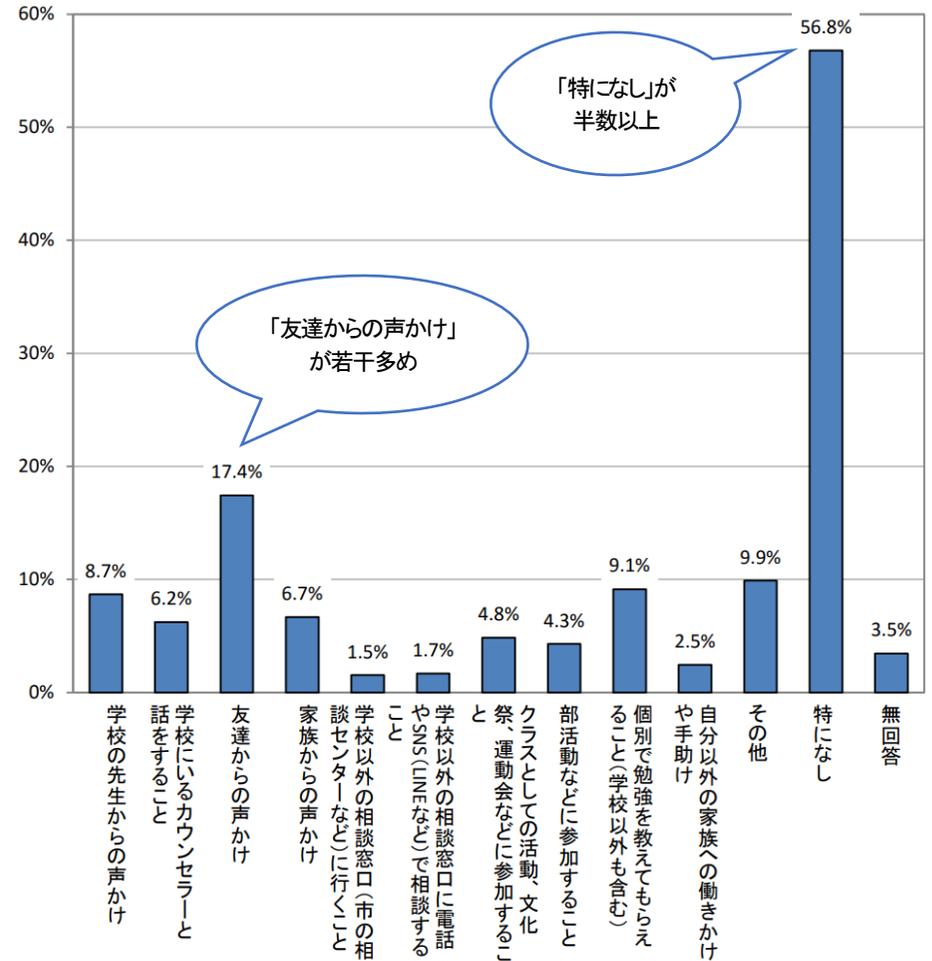
×やってはいけないこと

「学校へ行くな、〇〇してもいい」「昼間は家で勉強しなさい！」

「学校に行かない＝ダメな人間」というイメージを持たせない

あらかじめ、不登校を防ぐことは難しい？

【中学校】休みたいと感じ始めてから実際に休み始めるまでの間に、どのようなことがあれば休まなかったと思うか(実際にあったことを含む) ※不登校児童生徒の実態調査 結果の概要(文部科学省)



不登校は、個人と環境のミスマッチ

本人が登校しやすくなるような工夫を示しながら、スケジュールを提示されると、本人に選択の自由が保障される。

個人の特性に応じた自己解決能力を育み、環境に合わせられる力をつけるための支援を

個人を環境に合わせる

環境を個人に合わせる

分かりやすい授業づくりや認め合い支え合う集団づくりにより、環境を個人の特性に合わせる支援を